

第1回

看板職人の 七つ道具

— 現場に欠かせない腰ベルト —



Job Case : 高所作業



アイテム数：8種類
総重量：約5kg

先輩から譲り受けた愛用品。
自分流の「腰ベルト」を模索中。

そえのしょうた
添野 翔太氏
(株)ユーネクサス
工事部

当社は屋外広告塔や自立サイン、店舗ファサードなど、看板全般の製作・施工を行っています。私が配属されている工事部では、高所作業を中心とした現場仕事を保守管理含めた一貫で請け負っています。

今回紹介する腰ベルトは、普段の「高所作業時」を想定し、スタンダードなアイテムを揃えました。現場によっては、工具を持ったままの長距離移動が必要になることも多々あるため、腰へ

の負担を少しでも軽減する目的で、肩にサスペンダーを回せるタイプを使用しています。

装備品では、特に安全帯の太さと長さにはこだわっています。作業時の落下事故を防ぐために、柱などに身体ごと巻き付けても問題ないサイズを選定しました。その他の工具も、すべてに落下防止対策を施しています。

私は入社して5年ほど経ちますが、入社時に先輩から譲り受けた腰ベルト

を今でも愛用しています。業界未経験だったので、右も左もわかりませんが、先輩方のものを参考にしながら、少しずつ自分流にカスタマイズしてきました。最近は休日の度にホームセンターの工具コーナーを巡り、より自分にコミットするアイテムがないか日々探求しています。

今後は、施工管理技士や電気工事士1種の資格を取得し、一層多くの仕事を任せてもらえるよう努力していきたいです。今の腰ベルトはまだ機能面で進化の可能性を残していると感じるので、もっと自分なりの個性を出しつつ、汎用性を高めていければと思います。

です。今の腰ベルトはまだ機能面で進化の可能性を残していると感じるので、もっと自分なりの個性を出しつつ、汎用性を高めていければと思います。

株式会社 ユーネクサス

〒120-0004
東京都足立区東綾瀬3-1-1
TEL.03(3606)5904
FAX.03(3605)3462

連載/看板職人の七つ道具 現場に欠かせない腰ベルト



インパクトドライバー

フック付属の仕様なので、ベルト部分に引っ掛けることが可能。落下防止用アタッチメントを採用することで、万一落下事故が起きた時の対策がなされている。



安全帯

周囲の柱などに身体ごと巻き付けることで、より安全性を高められる。



ドライバー一式

使用する工具は、命綱をつけることができるよう、小さな穴の空いたものに限っている。

メジャー

落下防止用のリングがついているほか、ベルトに直接固定できるストッパーを付属。添野氏は少し長めの7.5mタイプを使用している。先端部が磁石となっているため、鉄骨部に吸着することができる。



カラビナ

開閉できる金属リング。ベルトやハーネスに様々なアイテムをつなぐことができる。赤色のものは、内部にワイヤーが仕込まれており、重さ5kgの器具に耐えることができるという。



小袋

小物類やビスなどの小さな部品を収納するほか、ゴミ入れにも利用。



モンキーレンチ

添野氏は、柄が短めのタイプを使用(写真右)。小回りが利き、レンチ部分の開きが通常品より大きいため採用した。



ラチェットレンチ

動作方向を一方に制限するために用いられる工具。溶接でオリジナルの落下防止リングを取り付けた。

こだわりポイント!

落下防止対策が第一

高い場所で道具の出し入れを迅速に行うので、万が一にも下に落としてしまわないよう、すべての器具に対策を施しています。

